

IRセミナー

2006年5月25日

個人に適した副作用の少ない 医療の実現に向けて

株式会社メディビック

(証券コード2369 東証マザーズ)

1. メディビックとは
2. 経営成績のご報告
3. 近況報告

1. メディビックとは

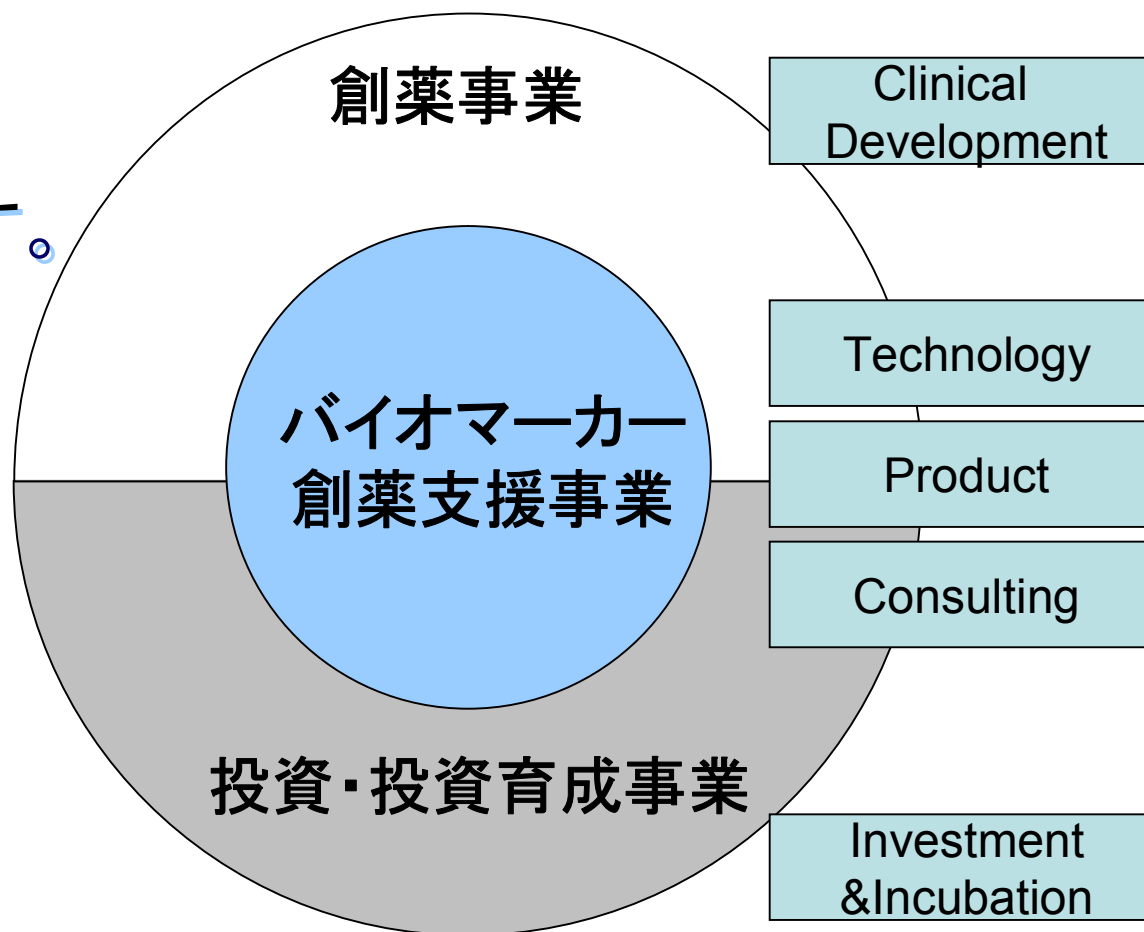
会社概要

(2006年5月25日現在)

会社名	株式会社メディビック
本社	東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル8F
設立	2000年2月17日
代表者	橋本康弘(易周)
資本金	14億3,878万円 (2005年12月31日現在)
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ (証券コード:2369)
従業員数	43名 (契約社員等含む)
事業所	<p>本 社: 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル8F TEL 03-5510-2407 FAX 03-5510-2312</p> <p>関西ラボ: 〒650-0047兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-4 臨床情報研究センター3F TEL 078-306-1836 FAX 078-306-1837</p> <p>上海事務所(上海辦事處): 〒200001 上海市西藏中路268號來福廣場 49F TEL +86-21-6340-5001 FAX +86-21-6340-4909</p>
主要子会社	<p>(株)メディビック・アライアンス <代表者: 小林光> 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル8F TEL 03-5251-2700 FAX 03-5510-2312</p> <p>(株)メディビックファーマ <代表者: 橋本康弘(易周)> 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル8F</p> <p>Anexus Pharmaceuticals, Inc. <代表者: 橋本康弘(易周)> Metro Center Tower, 950 Tower Lane, Suite 1775, Foster City, California 94404, USA TEL +1-650-240-4900</p>

■メディビックとは ——

メディビックは、
個の医療を
3つの事業で支えます。



I .バイオマーカー創薬支援事業(1)

テーラーメイド創薬®の実現を目指す

バイオマーカー創薬支援事業

- ・プロテオーム
- ・メタボローム

PGxサポート

- ・遺伝子発現解析
- ・SNP解析

※ PGx……ファーマコゲノミクス

I. バイオマーカー創薬支援事業(2)

顧客のバイオマーカー探索をトータルサポートしています。

Technology

データの解析やシステムの開発・販売

Product

研究支援用の製品などの販売

Consulting

最先端技術の情報提供や導入手順などの提案

II. 創薬事業

Clinical
Development

米シリコンバレー スレッシュホールド社
との提携を通じて、新薬の臨床開発を行います。

- ・ 現在、抗がん剤グルフォスファミドの第 I 相臨床試験の準備を進めています。
- ・ グルフォスファミドは日本では臨床開発初期段階ですが、米国では膀胱がんのPhase IIIを実施中で、米国食品医薬品局 (FDA) から Fast Track (優先開発対象医薬品) 指定を受けています。

Ⅲ.投資・投資育成事業

Investment
&Incubation

ライフサイエンス企業を中心とした
投資銀行サービスを提供します。

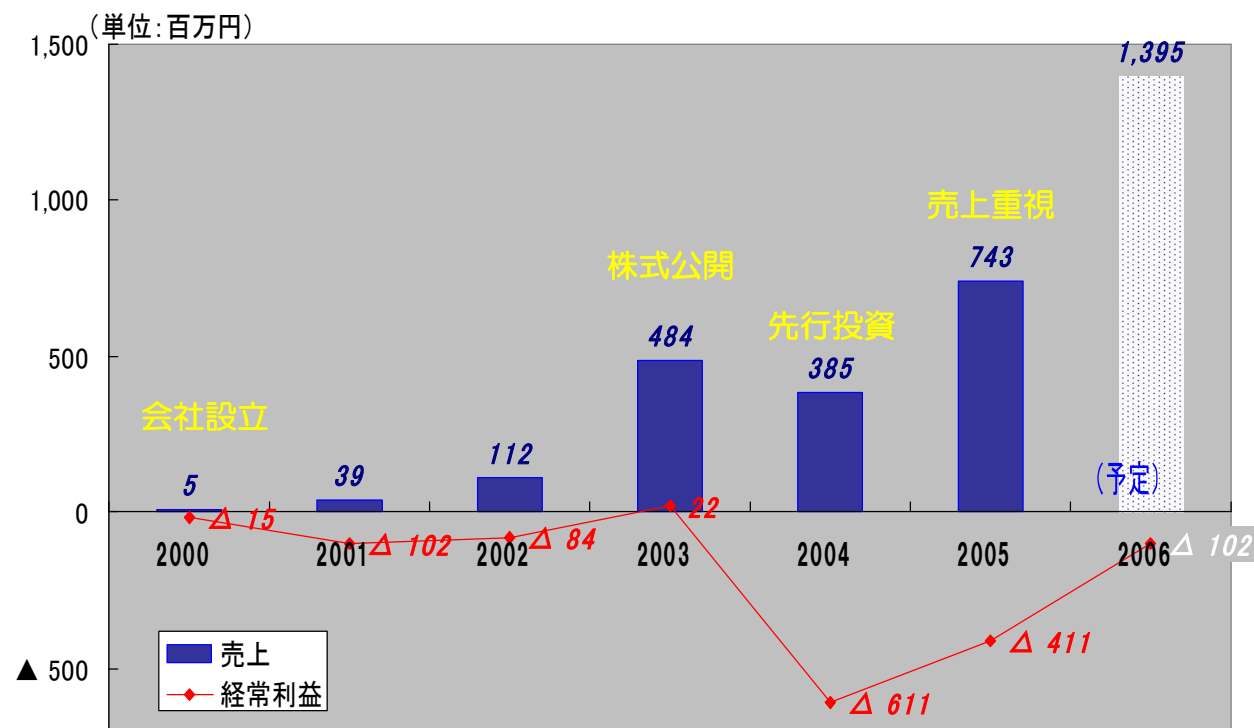
とりわけ 中国 韓国 への投資や提携を
積極的に展開

資本政策への助言、ファンドビジネス、M&Aアドバイザーなどの
の事業支援も行うことによって、顧客企業の成長を促しています。

2. 経営成績のご報告

■これまでの実績と2006年度予算

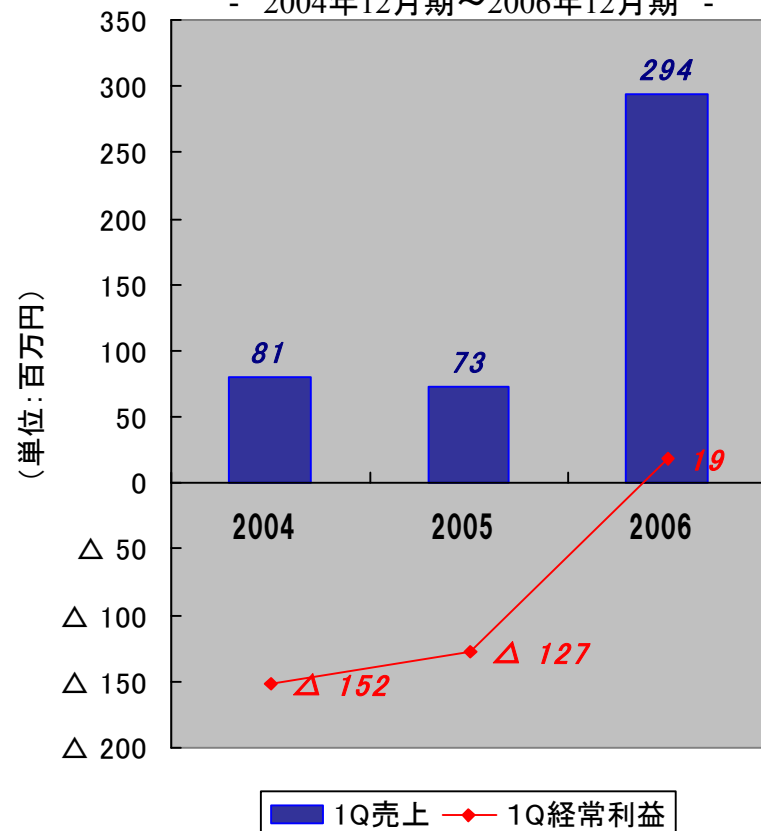
2006年12月期は、前年に引き続き、積極的な売上獲得を目指しております。



■2006年度 第1四半期の実績

第1四半期の売上・経常利益

- 2004年12月期～2006年12月期 -



(単位:百万円)

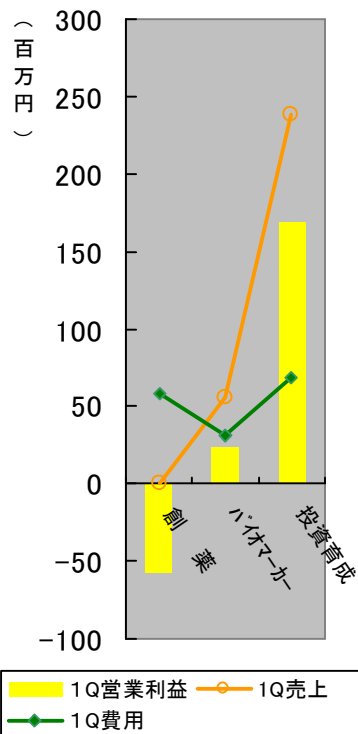
	2004年 第1四半期	2005年 第1四半期	2006年 第1四半期
売上高	81	73	294
経常利益	△152	△127	19
純利益	△153	△127	2

2006年12月期は堅調なスタート 第1四半期経常黒字

■2006年第1四半期 セグメント別

2006年第1四半期営業利益

—セグメント別明細—



(単位は全て百万円)

創薬事業 — 社会貢献

第1四半期売上	—
第1四半期営業費用	58
第1四半期営業利益	<u>△58</u>

バイオマーカー創薬支援事業 — 安定性

第1四半期売上	56
第1四半期営業費用	31
第1四半期営業利益	<u>24</u>

投資・投資育成事業 — 収益性

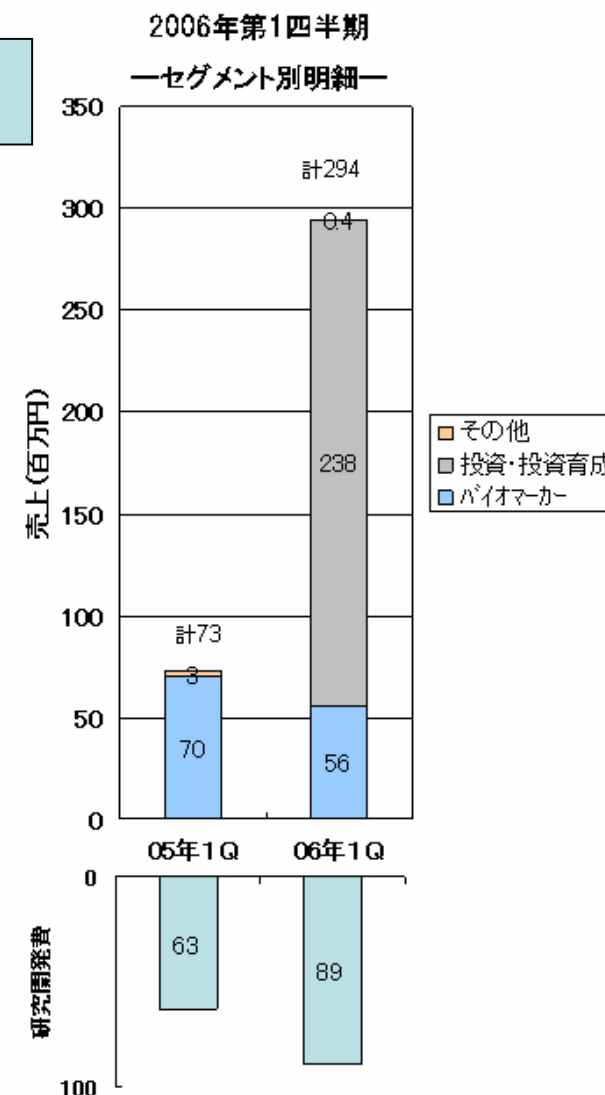
第1四半期売上	238
第1四半期営業費用	68
第1四半期営業利益	<u>169</u>

メディビックでは、それぞれの事業のシナジーによって、グループ全体として黒字体質化することを目指しています。

◆2006年度 第1四半期(1-3月)業績結果 (1)

バイオマーカー創薬支援事業 売上 (56百万円)

- アカデミック・公的研究機関に対して、データマイニングサービス提供。
- ArrayAssist®4.0の販売開始。
- ArrayAssist®4.0がAffymetrix社のGeneChip®対応ソフトとして認定され、当社グループが国内独占販売権を獲得。
- 開発戦略コンサルティング
及び マーケティングコンサルティング



◆2006年度 第1四半期(1-3月)業績結果 (2)

バイオマーカー創薬支援事業

◎年初の売り上げ安定化戦略が奏功

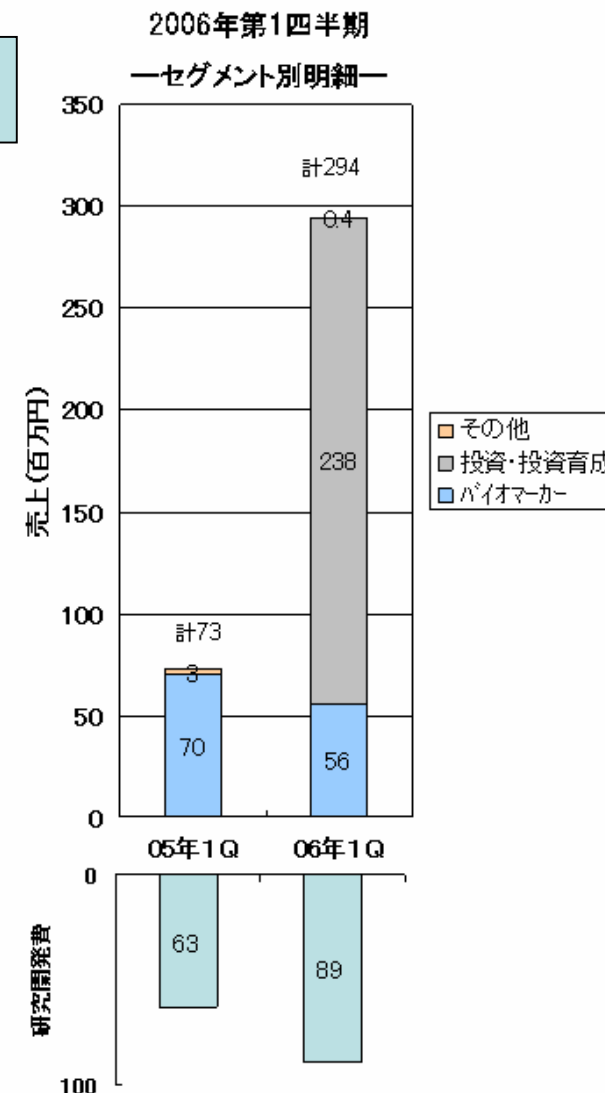
継続性のあるプロジェクトが殆ど

前年より売上が低下？

◆2006年度 第1四半期(1-3月)業績結果 (3)

投資・投資育成事業 売上 (238百万円)

- 投資先であるCrystalGenomics, Inc.(創薬及び創薬支援サービスの提供)が、平成18年1月6日付で韓国KOSDAQに新規上場。株式の一部を売却。
〔バイオブームに先駆けて韓国優良企業に提携・投資を行った成功例〕
- 投資先のコスモ・バイオ株式会社(試薬・臨床検査薬・医療機器の販売を行う)が前連結会計年度にJASDAQへ新規上場。株式の一部を売却。
- 「メディビック Pre-IPO・コリア・ファンド1号」を設立。
- その他、中国のライフサイエンス関連ベンチャー企業中心に投資を行うファンドを組成。



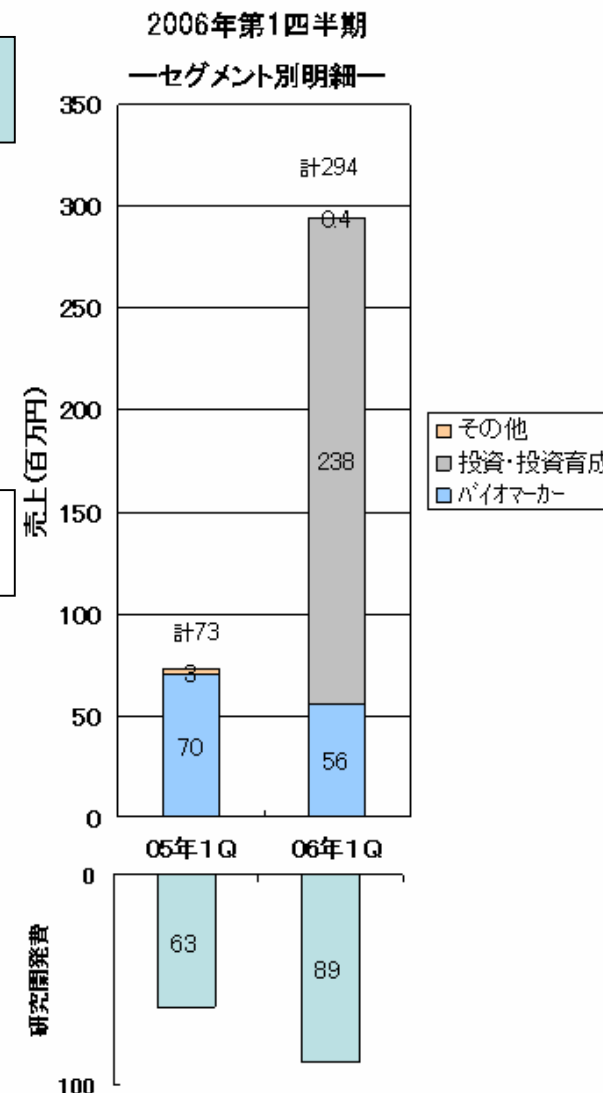
◆2006年度 第1四半期(1-3月)業績結果 (4)

創薬事業 売上 (一百万円)

- 現在研究開発段階にあるため、売上高計上なし。

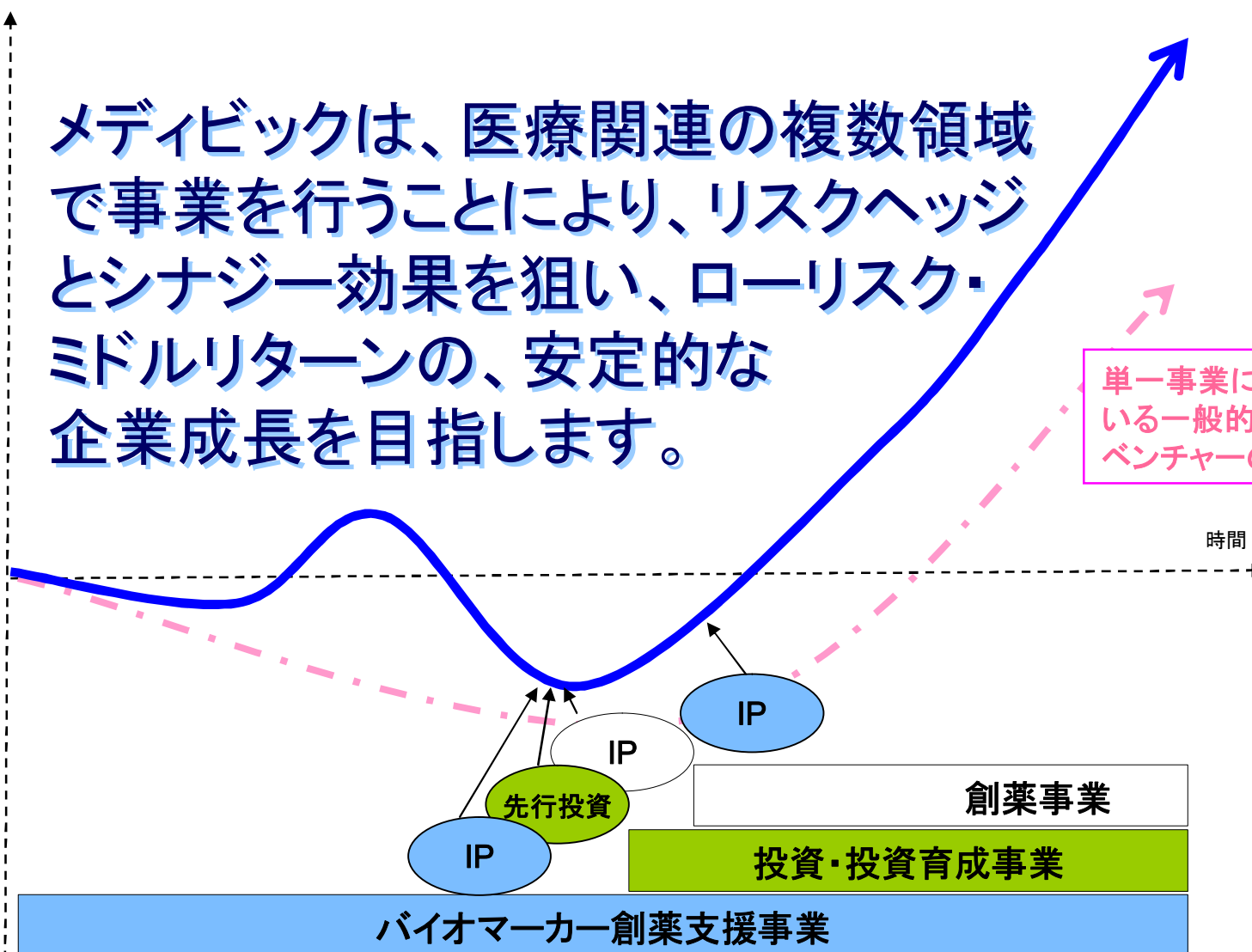
研究開発費 (89百万円)

- 抗がん剤(Glufosfamide) 治験申請へ



■ メディビックが目指す成長プロセス

損益



3. 近況報告

■近況報告 組織改正について

Holding Company

商号： 株式会社メディックグループ

代表者： 橋本 康弘(易周)

本社所在地： 〒100-0013東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル8F

関西ラボ： 〒650-0047兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-4 臨床情報研究センター3F

上海事務所(上海辦事處)： 〒200001 上海市西藏中路268號來福廣場 49F

Technology & Product

商号： 株式会社メディック

代表者： 橋本 康弘(易周)

本社所在地： 〒100-0013東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル8F

商号： Anex Pharmaceuticals, Inc.

代表者： 橋本 康弘

本社所在地： Metro Center Tower, 950 Tower Lane, Suite 1775,
Foster City, California 94404, USA

Clinical Development

商号： 株式会社メディックファーマ

代表者： 橋本 康弘(易周)

本社所在地： 〒100-0013東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル8F

Finance

商号： 株式会社メディック・アライアンス

代表者： 小林 光

本社所在地： 〒100-0013東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル8F

■ストックオプション制度の採用

<目的>

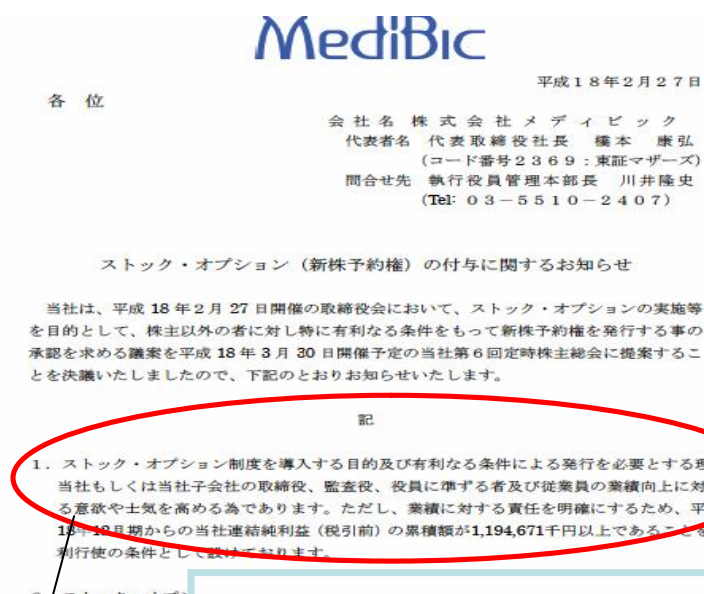
- 人材確保
- 従業員の業績向上に対する意欲や士気の向上

多項目に亘る、複数人の評価による人事考課によって、業績に応じた適切な配分を実施。

新株予約権の行使による株式価値の希薄化を意識し条件付きの行使を行っている。

■ストックオプションの条件

【2006年2月27日 プレスリリース】
 スtock・オプション(新株予約権)の付与に関するお知らせ



現在の累積損失を解消して
 健全な財務体質になってから
 はじめて行使ができるように
 条件をつけています。

1. スtock・オプション制度を導入する目的及び有利なる条件による発行を必要とする理由
 当社もしくは当社子会社の取締役、監査役、役員に準ずる者及び従業員の業績向上に対する意欲や士気を高める為であります。ただし、業績に対する責任を明確にするため、平成18年12月期からの当社連結純利益(税引前)の累積額が1,194,671千円以上であることを権利行使の条件として設けております。

■ バイオマーカー創薬支援事業 とは

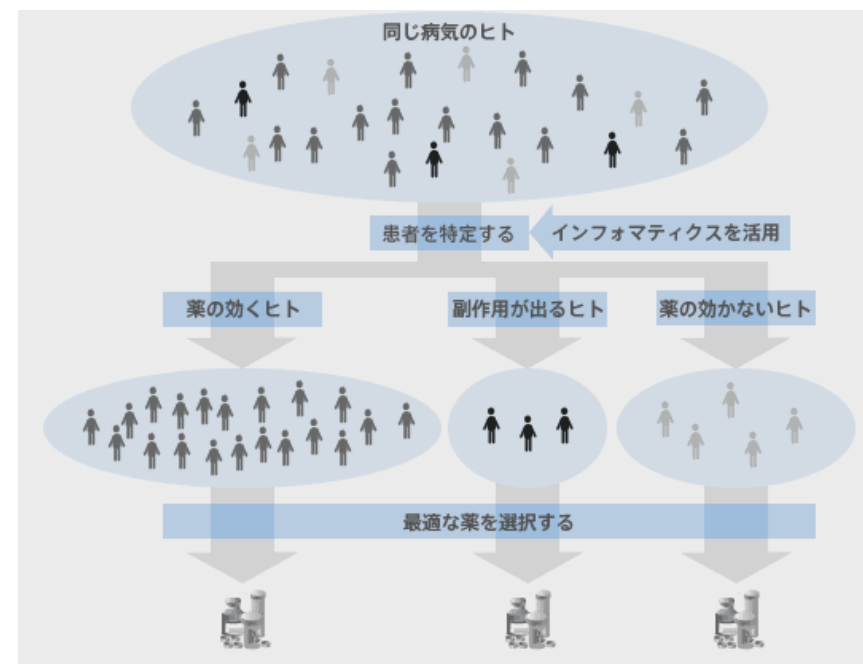
バイオマーカー事業とは ——— テーラーメイド創薬®の実現を目指す創薬支援事業

近年では、遺伝子情報を始めとした最先端の生体反応の解析技術から得られた情報、すなわち生体内のあらゆる変化の指標(バイオマーカー)を利用して、個人の体質を理解しようとしています。

「**テーラーメイド創薬®**」とは、遺伝子を始めとする**バイオマーカー**に基づいて、**個人の体質や病状の違いによって最適な薬を投与する**という、医療に対する考え方です。

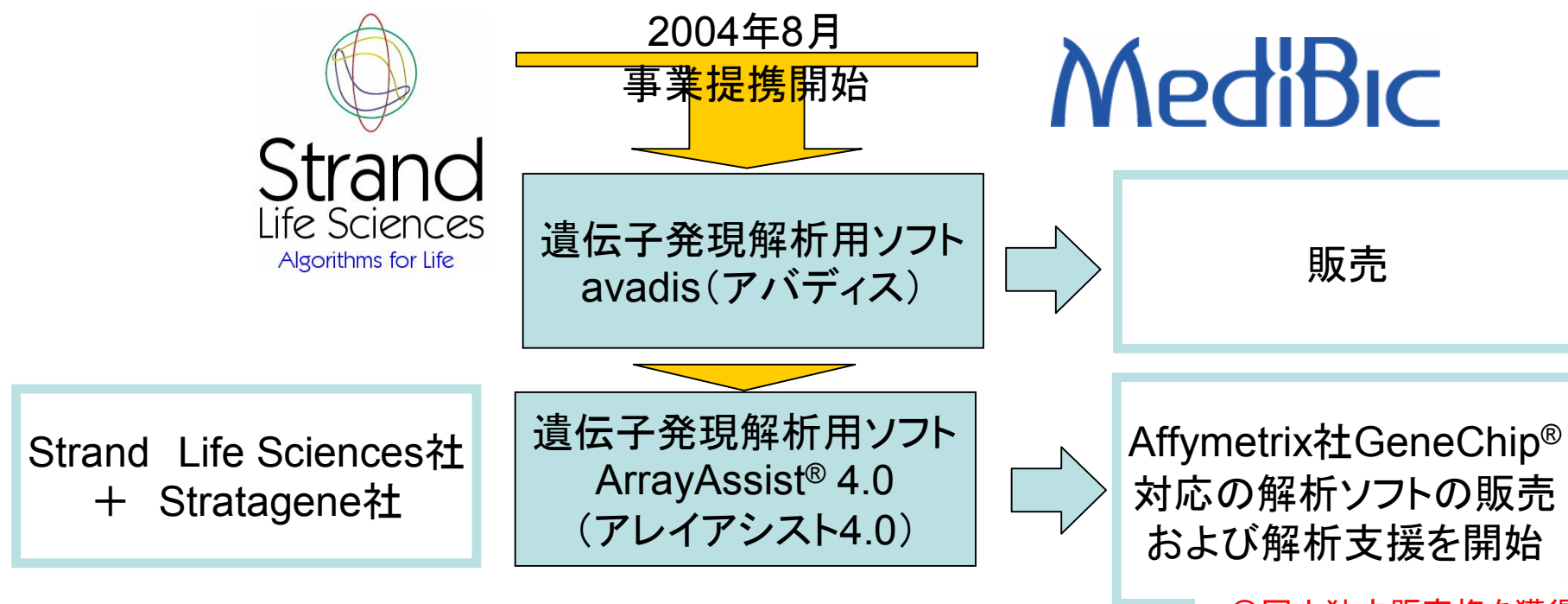
メディビックでは、遺伝子情報を始めとした、このような**バイオマーカー**の探索やそれらの結果を分析支援することにより、新薬の研究開発を支援しています。

薬の反応性に影響を与える因子を、自社で解析することや、それによってより安全で有効性の高い新薬を市場に提供することを目指しています。



■2006年度 バイオマーカー創薬支援事業

2004年からStrand Life Sciences社（インド）と基礎技術の共同開発を開始し、現在はAffymetrix社のGeneChip[®]対応ソフトとして認定されるまで発展。



◎国内独占販売権を獲得

■ バイオメーカー創薬支援事業の成長

遺伝子発現解析チップにおいて
世界でNo1のマーケットシェアをもつ Affymetrix 社
および Stratagene Japan 社と共同で、
解析ソフトの国内でのプロモーションを開始。

さらに 同様の企業連携により 世界レベルで一層の
利用が期待される新製品の開発終了

売り上げへの貢献と 当社の技術開発力の証明

■ バイオマーカー創薬支援事業の進捗(1)

PGx検体保管サービス(検体バンキング) 開始

1. 国内初の国内公的機関でのバンキング
2. グローバル対応の検体管理システム
3. サンプル集荷からDNA解析まですべてGLP準拠



<血流認証>



<超低温フリーザー>

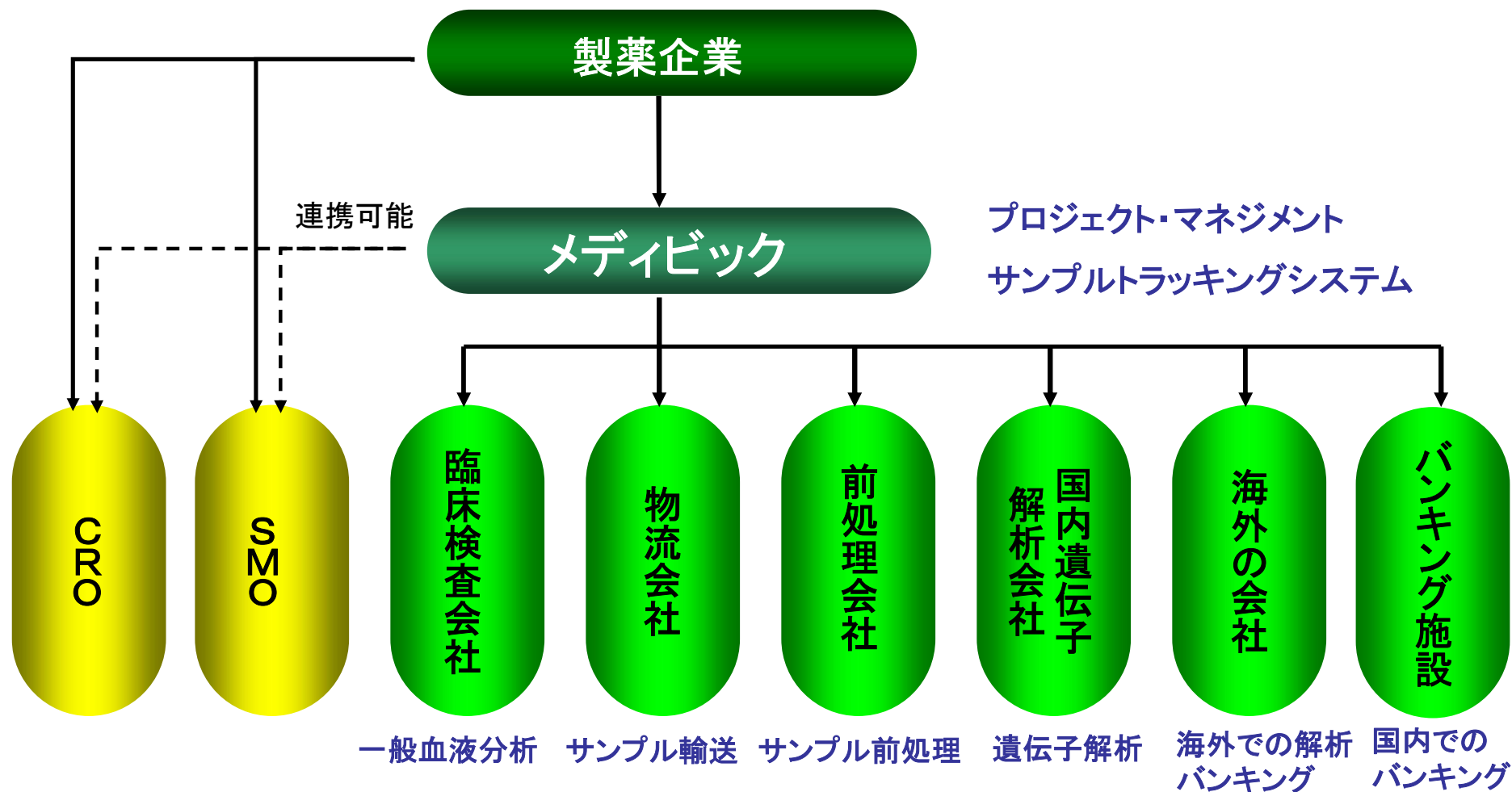


<液体窒素タンク>



■ バイオマーカー創薬支援事業の進捗(2)

PGxトータルソリューション 開始



■創薬事業の展開(1)

- ・ 抗がん剤(グルフォスファミド)の日本・アジア地域での共同開発権利を取得
- ・ 膵がんを対象とした抗がん剤(グルフォスファミド)の臨床開発を推進中
- ・ 米国でPhase III実施中／FDAよりファストトラック(優先開発対象医薬品)認定
- ・ 3月に 子会社 (株)メディビックファーマを設立

■創薬事業の展開(2)

・現在、今期からの国内臨床試験開始に向けて準備中

・2011年上市(目標)

- ギルフォスファミド単独の対象マーケットは
50～200億円(国内年間)と予測している。

■ 投資・投資育成事業の展開

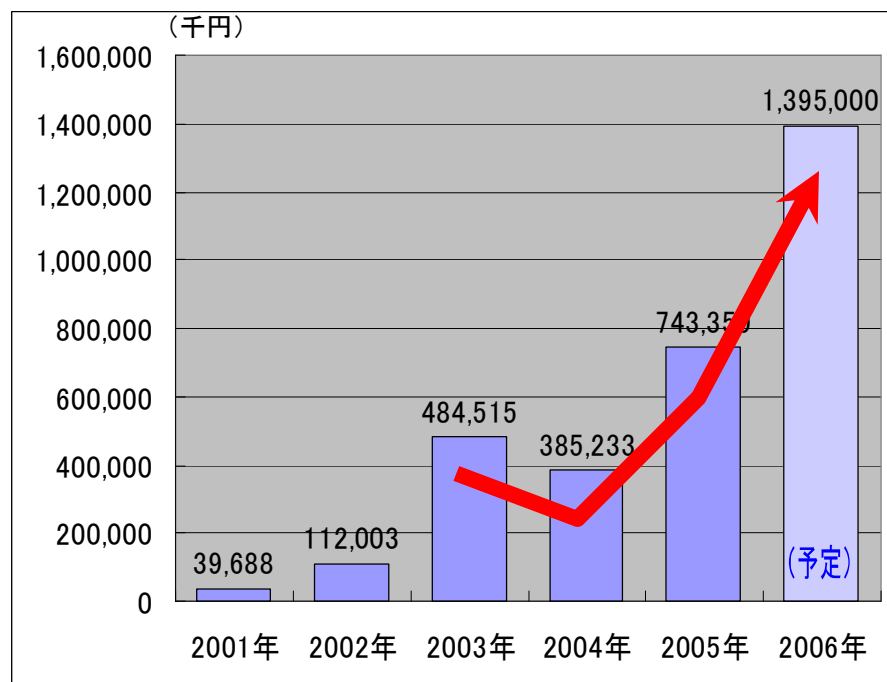
- ・現在保有している営業投資有価証券は約20社
- ・既に2社の上場を果たし、株式の一部を売却
- ・経済成長が著しい中国および韓国への
投資を積極的に展開
- ・中国・韓国への未公開株・企業育成ファンドを組成

■ 終わりに ～ 2006年のメディビック ～

第1Q売上高 前年同期比4倍に

本格的な成長ステージへ

◆ 業績回復



◆ 抗がん剤開発
本格化

◆ バイオマーカー
ビジネスの
国内 アジア展開

株式会社メディビック

www.medibic.com

◇ 当資料取り扱い注意点

本資料に記載されている、当社または当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事業の認識、評価などといった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に係わらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。